

## 【目次】

プロローグ アジアからの記憶の召還技法 貴志俊彦／山本博之／西 芳実／谷川竜一

### 第1部 二十世紀的地域像を拓く

#### 第1章 ミライの復興地——昭和三陸津波と東日本大震災 岡村健太郎

- 1 復興地の全体像
- 2 吉里吉里集落の復興地に刻まれた災害の記憶（事例分析一）
- 3 港・岩崎集落の復興地に刻まれた災害の記憶（事例分析二）

#### 第2章 記憶のアーカイブ——スマトラ島沖津波の経験を世界へ 西 芳実

- 1 紛争と被災
- 2 証言集——地域の繋がりを取り戻す
- 3 自分史——時間の繋がりを取り戻す
- 4 今昔写真——移り変わりを可視化する

#### 第3章 家系図の創造——ボルネオの黄龍の子孫たち 山本博之

- 1 黄龍の家系図
- 2 ボルネオの中国人と先住民
- 3 忘れたふりをする私たち

### 第2部 二十世紀的記憶を結ぶ

#### 第4章 往古への首都建設——平壤の朝鮮式建物 谷川竜一

- 1 朝鮮式建物を読み解く
- 2 往古への首都建設

#### 第5章 戦争の記憶と和解——韓国軍によるベトナム人戦時虐殺問題 伊藤正子

- 1 記憶の語り方——韓国の場合
- 2 記憶の語り方——ベトナムの場合
- 3 報道十年後の軋轢

#### 第6章 交錯する農村の近代——岩手県沢内村と黒龍江省方正県 坂部晶子

- 1 沢内村の近代と中国
- 2 方正県の近代と日本
- 3 二つの村の近代をつなぐ

### 第3部 二十世紀的記憶を描く

第7章 黒船来航と集合的忘却——久里浜・下田・那覇 泉水英計

- 1 久里浜——国際政治のなかの日米関係
- 2 下田——観光資源としての開国史
- 3 那覇——日米の狭間で

第8章 日本人の性的表象——南洋を描いた中国語小説 及川 茜

- 1 張貴興が伝える日本イメージ
- 2 陳千武が描くティモール島の戦争体験
- 3 李永平が描く日本人

第9章 グラフ誌が描かなかった死——日中戦争下の華北 貴志俊彦

- 1 満鉄の華北進出とグラフ誌の刊行
- 2 華北交通発行のグラフ誌とその特徴

エピローグ 関連地域研究についてひとこと——比較と関係性

貴志俊彦／山本博之／西 芳実／谷川竜一